



VMware データストア クラスタの管理

この章は、次の項で構成されています。

- [VMware データストアについて, 1 ページ](#)
- [VMware データストア クラスタについて, 1 ページ](#)
- [VMware データストア クラスタと Cisco UCS Director との統合, 2 ページ](#)
- [データストア クラスタの追加, 2 ページ](#)
- [データストア クラスタ DRS ルール レポートの表示, 3 ページ](#)
- [データストア クラスタ DRS ルールの追加, 3 ページ](#)
- [データストア クラスタ DRS ルールの有効化または無効化, 5 ページ](#)

VMware データストアについて

データストアは、仮想マシンおよびそのデータ用のストレージリポジトリです。データストアは、ネットワーク ファイル システム (NFS) または Virtual Machine File System (VMFS) にできます。Cisco UCS Director は、物理ストレージからデータストアを作成するタスク ライブラリを提供します。新しく作成されたデータストアと既存のデータストアはその後 VDC ストレージ ポリシーで使用され、VM プロビジョニング中に適切なデータストアを選択できるポリシーベースのフレームワークを提供します。データストアは ISO イメージリポジトリとしても識別でき、ISO ベースの VM プロビジョニングに役立てることもできます。

VMware データストア クラスタについて

VMware データストア クラスタは、共有リソースと共有管理インターフェイスを持つデータストアのコレクションです。データストア クラスタを作成する場合に、VMware vSphere ストレージ DRS を使用してストレージリソースを管理できます。

VMware データストア クラスターと Cisco UCS Director との統合

Cisco UCS Director では VMware データストア クラスターを管理することができます。データストア クラスターを追加、編集、および削除できます。データストア クラスターが追加されると、Cisco UCS Director では次の処理がサポートされます。

- VM の複製、テンプレートの複製、および新しい VM の作成の処理中に、データストア でデータストア クラスターを使用できます。データストア クラスターを選択した場合、SDRS は、VM のプロビジョニングに最も適したデータストア を推奨します。
- VMware Storage ポリシーを追加するときに、データストア クラスターを選択できます。
- DRS アフィニティ ルールはデータストア クラスターに追加できます。

DRS アフィニティ ルールの使用の詳細については、[VMware Distributed Resource Scheduler について](#)を参照してください。

データストア クラスターの追加

手順

-
- ステップ 1 [仮想 (Virtual)] > [ストレージ (Storage)] を選択します。
 - ステップ 2 [ストレージ (Storage)] ページでクラウドを選択します。
 - ステップ 3 [ストレージ (Storage)] ページで [データストア クラスター (Datastore Clusters)] をクリックします。
 - ステップ 4 [作成 (Create)] をクリックします。
 - ステップ 5 [データストア クラスターの作成 (Create Datastore Cluster)] 画面で、次のフィールドに入力します。
 - a) ストレージ DRS を有効にしてストレージ リソースを管理するには、[ストレージ DRS を有効化します (Enable Storage DRS)] チェック ボックスをオンにします。
 - b) VM プロビジョニングに対して最も適切なデータストア を推奨するには、ストレージ DRS に対して [SDRS の推奨に対して I/O メトリックを有効化する (Enable I/O Metric for SDRS recommendations)] をオンにします。
 - c) レベルの自動化を選択します。[手動 (Manual)] を選択すると、推奨事項を手動で適用するまで、ストレージ DRS からの配置および移行の推奨事項は実行されません。[完全に自動化 (Fully Automated)] を選択すると、ストレージ DRS からの配置および移行の推奨事項は、自動的に実行されます。
 - ステップ 6 [送信 (Submit)] をクリックします。
-

データストア クラスター DRS ルール レポートの表示

手順

- ステップ 1 [仮想 (Virtual)] > [ストレージ (Storage)] を選択します。
- ステップ 2 [ストレージ (Storage)] ページでクラウドを選択します。
- ステップ 3 [ストレージ (Storage)] ページで [データストア クラスター (Datastore Clusters)] をクリックします。
- ステップ 4 関連する DRS ルールを表示するデータストア クラスターを含む行をクリックします。
- ステップ 5 [詳細の表示 (View Details)] をクリックします。
- ステップ 6 [SDRS ルール (SDRS Rules)] をクリックして、データストア クラスターに関連付けられている DRS ルールを表示します。

DRS ルール レポートが次のルール タイプで表示されます。

- VM 間アンチアフィニティ ルール：VM アンチアフィニティ。
- VM 内アンチアフィニティ ルール：アンチアフィニティ。
- INTRA_VM_AFFINITY_ENABLED：このルールは、VM 内アフィニティ有効 VM を表します。
- INTRA_VM_AFFINITY_DISABLED：このルールは、VM 内アフィニティ無効 VM を表します。

データストア クラスター DRS ルールの追加

Cisco UCS Director では、次のタイプの DRS アフィニティ ルールを VMware データストア クラスターに追加することができます。

- VM 間アンチアフィニティ：このルールは、同じデータストアに配置してはいけない仮想マシンを指定します。
- VM 内アンチアフィニティ：このルールは、異なるデータストア上になければならない特定の仮想マシンに関連付けられた仮想ディスクを指定します。



(注) 一意の名前が付いた DRS ルール作成することをお勧めします。重複した名前を使用すると、データストア クラスターの DRS ルールを変更する際にアフィニティタイプの選択で問題が生じます。

手順

- ステップ 1** [仮想 (Virtual)] > [ストレージ (Storage)] を選択します。
- ステップ 2** [ストレージ (Storage)] ページでクラウドを選択します。
- ステップ 3** [ストレージ (Storage)] ページで [データストア クラスタ (Datastore Clusters)] をクリックします。
- ステップ 4** DRS ルールを追加するデータストア クラスタを含む行をクリックします。
- ステップ 5** [詳細の表示 (View Details)] をクリックします。
- ステップ 6** [SDRS ルール (SDRS Rules)] をクリックします。
- ステップ 7** [追加 (Add)] をクリックします。
- ステップ 8** [ルールの追加 (Add Rule)] 画面で、次のフィールドに入力します。

名前	説明
[名前 (Name)] フィールド	ルールの名前。
[タイプ (Type)] ドロップダウン リスト	規則のタイプを選択します。次のいずれかを設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [VMアンチアフィニティ (VM Anti Affinity)] : VM 間アンチアフィニティルールを追加するには、このオプションを選択します。 • [VMディスクアンチアフィニティ (VM Disk Anti Affinity)] : VM 内アンチアフィニティルールを追加するには、このオプションを選択します。
[ステータス (Status)] ドロップダウン リスト	ルールのステータスを選択します。次のいずれかを設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [有効 (Enabled)] • 無効
[VMの選択 (Select VM)]	VM を選択します。
[ディスクの選択 (Select Disks)]	[VMディスクアンチアフィニティ (VM Disk Anti Affinity)] ルールタイプを選択した場合は、ディスクを選択します。
[競合を続行 (Proceed with Conflicts)] チェックボックス	競合を続行するには、チェックボックスをオンにします。

ステップ 9 [送信 (Submit)] をクリックします。

データストア クラスター DRS ルールの有効化または無効化

デフォルトでは、ストレージの DRS ルールが作成、有効化、無効化されると、ルールが作成または更新されますが、自動的に適用されません。VMware vSphere Web クライアントを使用して、ストレージ DRS ルールを手動で実行するか、スケジュールされたストレージ DRS ルールの実行まで待つことができます。VMware vSphere Web クライアントを使用して、[ストレージ DRS ランタイム設定 (Storage DRS Runtime Settings)] の [詳細オプション (Advanced Options)] でスケジュールを変更して、不均衡を修正できます。デフォルトでは、スケジュールは 8 時間ごとに設定されます。

手順

- ステップ 1 [仮想 (Virtual)] > [ストレージ (Storage)] を選択します。
 - ステップ 2 [ストレージ (Storage)] ページでクラウドを選択します。
 - ステップ 3 [ストレージ (Storage)] ページで [データストア クラスター (Datastore Clusters)] をクリックします。
 - ステップ 4 DRS ルールを有効化または無効化するデータストア クラスターを含む行をクリックします。
 - ステップ 5 [詳細の表示 (View Details)] をクリックします。
 - ステップ 6 [SDRS ルール (SDRS Rules)] をクリックします。
 - ステップ 7 [VM 内アフィニティの有効化 (Enable Intra VM Affinity)] または [VM 内アフィニティの無効化 (Disable Intra VM Affinity)] をクリックします。
 - ステップ 8 [VMDK アフィニティ ルールの有効化 (Enable VMDK Affinity Rule)] または [VMDK アフィニティ ルールの無効化 (Disable VMDK Affinity Rule)] 画面で、ルールを有効化/無効化する VM を選択します。
 - ステップ 9 [送信 (Submit)] をクリックします。
-

